看護ケアサイエンス学会誌投稿規定

令和 6 年 7 月 9 日改正

1．掲載対象論文

看護学とその関連領域に関する未発表論文（総説・原著・短報・症例報告・特別寄稿）および記事（海外活動報告・国際学会報告）を対象とする．

2．論文著者の資格

全ての著者は看護ケアサイエンス学会会員であることが必要である（学会加入手続きは本誌掲載看護ケアサイエンス学会会則第 3 章を参照のこと．会員においては，論文投稿時に当該年度の会費を納入済であること．）

3．学会誌の発刊は原則年 1 回とする．

4．投稿から掲載に至る過程：

1） 投稿の際に必要なもの

①初投稿の際（総説・原著・短報・症例報告）

・原稿（表紙・要旨・本文（文献・図表を含む）をそれぞれ別のファイルに分けて投稿する）

・著者全員の著作権譲渡承諾書（所定の様式）

②査読後再投稿の際

・修正原稿（表紙・要旨・本文の変更箇所にアンダーラインをつけて示す）

・査読者に対する回答

③掲載確定後の際

・最終原稿（表紙・要旨・本文）

・図表データ（Microsoft Word，Excel，Power Point 等で作成し編集可能なもの）

2） 査読：原則として編集委員会が指名した 2 名の査読者によりなされる．

3） 掲載の可否：査読結果およびそれに対する対応をもとに，最終的には編集委員会が決定する．

4） 掲載号，掲載順位，掲載様式など：編集委員会が決定する．

5） 校正：著者校正は 1 校までとし，その際，印刷上の誤りによるもののみにとどめ，内容の訂正や新たな内容の加筆は認めない．

5．倫理的配慮に関して

本誌に投稿される論文（原著・短報・症例報告）における臨床研究は，ヘルシンキ宣言を遵守したものであることとする．患者の名前，イニシャル，病院での患者番号など患者の同定を可能にするような情報を記載してはならない．投稿に際して所属する施設から同意を得ているものとみなす．ヒトを対象とした研究を扱う論文では，原則として「研究対象と方法」のセクションに所属する倫理審査委員会から許可を受けたこと（施設名と承認番号を記載のこと），および対象者からインフォームド・コンセントを得たことを記載する．ただし倫理審査委員会申請の対象とならない研究を除く．

Presented by Medical*Online

6．掲載料の負担

・依頼原稿以外，原則として著者負担とする．

・掲載料は原稿刷り上がりで 10 頁（42 文字× 22 行原稿用紙 20 枚が目安〔図表含む〕）までは 20,000 円とする．図表の目安は，小 1/6 ～ 1/3 頁，中 1/2 頁，大 1 頁とする．

・10 頁を超過した場合は，1 頁 5,000 円とする．

7．原稿スタイル

1） 原稿は Microsoft Word で作成したものを A4 用紙に印字したものとする．
上下左右の余白は 2cm 以上をとり，下余白中央に頁番号を印字する．

①和文原稿：

・平仮名まじり楷書体により平易な文章でかつ推敲を重ねたものとする．

・句読点には，「,」および「.」を用い，文節段落のはじめ（含改行後）は，1 字あける．

・原則として，横書き 12 ポイント 42 文字× 22 行を 1 頁とし，すべての原稿は 20 頁以内とする．

②英文原稿：

・英語を母国語とする人による英文校正証明書及びそれに代わるものを添付すること．

・原則として，横書き 12 ポイントダブルスペースで作成し，すべての原稿は 20 頁以内とする．

・特に指定のないかぎり，論文タイトル，表・図タイトルを含む全ての論文構成要素において，最初の文字のみ大文字とする．但し，著者名のうち性はすべて大文字で記す．

2） 原稿構成は，表紙，要旨（含キーワード），本文（含む文献・図表）とする．本文には頁番号及び頁毎に行番号を記す．

⑴ 表紙の構成：①論文の種類，②表題（日本語・英語），③著者名（日本語・英語），④著者所属機関名（日本語・英語），⑤ランニング・タイトル（和字 20 文字以内），⑥掲載料請求著者名・住所・電話番号，メールアドレス，⑦利益相反，⑧謝辞．

・著者が複数の所属機関にまたがる場合のみ，肩文字番号（サイズは 9 ポイント程度）で区別する．

・英文標題は，最初の文字のみ大文字とする．

・要旨（Abstract）：表題（日本語・英語），和文要旨及び英文要旨を記す．和文要旨では 400 文字，英文要旨では 200 語以内で記す．要旨の最後には，1 行あけて 5 語以内のキーワード（日本語・英語）を付す．各語間は「,」で区切る．英語では，すべて小文字を用いる．英語を母国語とする人による英文校正証明書及びそれに代わるものを添付すること．

⑵ 本文

・原著：はじめに（Introduction），研究対象と方法（Materials and methods），結果（Results），考察（Discussion），結語（Conclusion），文献（References）の項目順に記す．各項目には番号は付けず，項目間に 1 行のスペースを挿入する．

・短報：原著に準拠する．総説：はじめに・謝辞・文献は原著に準拠し，それ以外の構成は特に問わない．

⑶ 文献：関連あるもののうち，引用は必要最小限度にとどめる．

・本文引用箇所の記載方法：右肩に，引用順に番号と右片括弧を付す（字体は 9 ポイント程度）．同一箇所に複数文献を引用する場合，番号間を「,」で区切り，最後の番号に右片括弧を付す．3 つ以上の連続した番号が続く場合，最初と最後の番号の間を「-」で結ぶ．

・同一文献は一回のみ記載することとし，「前掲～」とは記載しない．

Presented by Medical*Online

・文末文献一覧の記載法：論文に引用した順に番号を付し，以下の様式に従い記載する．

○著者名は筆頭以下 3 名以内とし，3 名をこえる場合は「ほか」または「,et al」を記載する．英文文献では，family name に続き initial をピリオド無しで記載し，最後の著者名の前に and は付けない．

○雑誌の場合

著者名：論文タイトル，雑誌名　巻：初頁–終頁，発行年（西暦）．の順に記す．

雑誌名の略記法は，和文誌では医学中央雑誌，英文誌では index medicus のそれに準ずる．

例：

1） 近田敬子，木戸上八重子，飯塚愛子ほか：日常生活行動に関する研究．看護研究 15：59–67，1962.

2） Enders JR, Weller TH, Robbins FC, etal : Cultivation of the polioviruss strain in cultures of various tissues. J Virol 58 : 85–89, 1962.

○単行本の場合

・全引用：著者名：単行本表題（2 版以上では版数）．発行所，その所在地，西暦発行年．

・一部引用:表題（2 版以上では版数）．単行本表題，編集者，初頁–終頁，発行所，その所在地，西暦発行年．

例：

1） 砂原茂一：医者と患者と病院と（第 3 版）．岩波書店，東京，1993.

2） 岩井重富，矢越美智子：外科領域の消毒．消毒剤（第 2 版），高杉益充編，pp76–85，医薬ジャーナル社，東京，1990.

3） Horkenes G, Pattison JR：Viruses and diseases. In "A pratical guide to clinical virology (2nded), Hauknes G, Haaheim JE eds, pp5–9, John Wiley and Sons, New York, 1989.

○印刷中の論文の場合：これらの引用に関する全責任は著者が追うものとする．

1） 立山太郎：看護学の発展に及ぼした法的制度の研究．富山大学看護学会誌（印刷中）．

⑷ 表および図（とその説明文）:用紙 1 枚に 1 表（または図）程度にとどめる．和文原稿においては，図表の標題あるいは説明文は英文で記してもよい．肩文字のサイズは 9 ポイント程度とする．

・表：表題は，上段に表番号（表 1. あるいは Table1.）に続き記載する．

・脚注を必要とする表中記載事項は，その右肩に表上左から表下右にかけて出現順に小文字アルファベット（または番号）を付す．有意差表示は右肩＊による．表下欄外の脚注には，表中の全ての肩印字に対応させ簡易な説明文を記載する．

・図説明文：下段に図番号（図 1. または Fig.1.）に次いで図標題．説明文を記載する．写真（原則としてモノクロ）は鮮明なコントラストを有するものに限定する．

⑸ その他の記載法

・学名：イタリック体で記す．

・略語の使用：要旨および本文のそれぞれにおいて，最初の記載箇所においては全記し，続くカッコ内に以後使用する略語を記す．

例：後天性免疫不全症候群（エイズ），mental health problem（MHP）．

但し，図表中においては number の略語としての n または N を直接使用してよい．

・度量衡・時間表示：国際単位（kg, g, mg, mm, g/dl）を用い，温度は摂氏（℃），気圧はヘクトパスカル（hpa）表示とする．英字時間表示には，sec, min, h をピリオド無しで用いる．

Presented by Medical*Online

⑹ 記事（海外活動報告・国際学会報告）は 1,200 字程度とし，写真 1 ～ 2 枚をつける．投稿料・掲載料は不要であり，掲載の可否は編集委員会が決定する．

8．論文の受付

原稿は随時受け付けているが，下記条件を満たすことを編集委員会が確認した日付を論文受付日とする．

1） 論文が投稿規定に示す書式，体裁を遵守していること．
2） 投稿に必要な諸書面に不備がないこと．
3） 著者全員が本学会員であること．

9．利益相反について

1） 自己申告すべき内容がない場合は，論文の末尾に，「利益相反自己申告：申告すべきものなし」と記載する．
2） 自己申告すべき内容がある場合は，論文の末尾に以下の記載例の如く記載する．

（記載例）著者 A は○○株式会社から資金援助を受けている．
著者 B は△△株式会社の社員である．
著者 C は□株式会社の顧問である．

10. 著作権について

掲載された論文の著作権は本会に属するものとする．

「投稿先」

看護ケアサイエンス学会 HP 上の投稿フォームより投稿する．
看護ケアサイエンス学会 HP URL：https://www.jsncs.jp

「問い合わせ先」

看護ケアサイエンス学会編集委員会
メールアドレス：journal@jsncs.jp

附則

この規定の改正は，令和 6 年 7 月 9 日から施行する．

Presented by Medical*Online